

令和2年度 沖縄県平和創造の森公園指定管理者制度運用委員会について

1. 開催日時・場所

- 1) 日時：令和2年7月22日（水）13：30～15：30
- 2) 場所：南部合同庁舎5階第3・第4会議室

2. 出席状況

委員：張本文昭 委員長、神谷繁 委員、樋口純一郎委員、並河善知 委員

事務局：環境再生課 課長 久高直治

班長 中村智恵子

主任 喜屋武 里奈

オブザーバー（指定管理者）：沖縄県森林組合連合会 金城敏、渡嘉敷通世、宮崎悠

3. 対象

令和元年度モニタリング実施結果

4. 検証内容

- (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切になされているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

5. 検証方法

- (1) 事務局（環境再生課）によるモニタリング実施結果の報告
- (2) 質疑・意見（各委員からの質疑等に対し、事務局及び指定管理者から回答）

6. 議事の概要（主な意見）

【維持管理業務について】

- (1) 清掃点検簿は衛生管理を確認する上で大事な書類であるため、作成すること。

【自主事業について】

- (2) 公園の周知活動の1つとして年に1、2本程度大きなイベントを実施するとよい。

【サービスの質の評価について】

- (3) アンケートの回答数が少ないので、少なくとも団体利用者の代表やイベント参加者に回答してもらうこと。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県平和創造の森公園	対象年度	令和元年度
------	-------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		1
(2) 保守・点検		1
(3) 保安・警備		1
(4) 小規模修繕		2
(5) 備品購入		2
(6) 防犯・防災対策		2
(7) 料金徴収業務		3
(8) 植栽管理(基本協定10条(3)②)		3
2. 運營業務	4
(1) 利用実績		4
1) 利用者数等		4
2) 施設稼働率		5
(2) 運営企画		6
(3) 受付・接客		6
(4) 広報		6
(5) 情報管理		6
3. 自主事業	7,8
II. サービスの質の評価	9
1. 維持管理業務		9
2. 運營業務		9
3. 自主事業		10
4. 総合評価		10
III. サービスの安定性評価(財務状況)	11
1. 事業収支		
(1) 収入		11
(2) 支出		11
2. 経営分析指標		12
IV. 総合評価	13
1. 目標		13
2. 評価結果		13

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県平和創造の森公園	対象年度	令和元年度
指定管理者	沖縄県森林組合連合会 指定期間:平成30年4月～(平成35)令和5年3月	所管課	環境部 環境再生課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 園内施設の清掃に係る清掃員を2名配置し、園内施設を適正に管理し快適な環境を作る。 [事業計画書]	○	×	管理作業員が兼務で清掃作業に従事。 園内施設を適正に管理し快適な環境を作っている。	事業報告書及び現場視察にて実施確認。	清掃員を募集したが人材不足で応募がなく、現在管理作業員を清掃員と兼業で2名配置している。	適正に実施されており、実施回数も妥当であるが、美化・清掃点検簿が作成されていないため、作成する必要がある。今後も適切な衛生管理に努める必要がある。
〈定期清掃〉 同上	○	○	トイレ等の施設清掃は週2回実施 その他園内は適宜実施している。	事業報告書及び現場視察にて実施確認。		適正に実施されており、実施回数も妥当であるが、美化・清掃点検簿が作成されていないため、作成する必要がある。今後も適切な衛生管理に努める必要がある。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設の安全点検を毎日行い、来園者の安全対策を徹底する。 万が一事故が発生した場合は救護や応急措置が迅速にとれるように緊急連絡体制を徹底する。 [事業計画書]	○	○	遊具施設は、1日2回巡回点検を実施 トイレ施設は、1日3回巡回点検実施 汚水処理点検は東側浄化槽年4回 西側浄化槽月2回実施 電気施設の点検は2ヶ月に1回実施	事業報告書及びその他関係書類にて実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	適正に実施されており実施回数も妥当である。今後も適切な保守点検に努める必要がある。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
閉園後の公園施設及びお手植え木の管理に万全を期するため、夜間常駐警備を行う。特に、年末・年始及び慰霊の日など特別な日においては警備体制を強化する。 [事業計画書]	×	○	年末・年始及び慰霊の日は、朝09:00から17:30までの臨時警備員を配置し、警備体制を強化した。	再委託先から提出される書類（警備日誌）にて実施確認。 夜間常駐警備は、17:30から翌朝09:00までの15.5時間で1名を配置。 24時間体制の機械警備の配置。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後も安全な施設環境の保持に努める必要がある。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(公園) 1件100万円未満の 修繕を実施(基本 協定に基づく)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 中央トイレブース(建具)更新 上水道漏水修繕2件 西側トイレ排水管更新 トイレ洗浄バルブ修繕 作業員倉庫電灯回路修繕 休憩室エアコンクリーニング せせらぎポンプ修繕 浄化槽ポンプ修繕 上水道空気弁設置 その他簡易修繕3件 金額：2,432,521円	事業報告書、現場写真及び現場視察時に実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	利用者の安全性と利便性に配慮して修繕を行っている。 施設の修繕については、予算を考慮した上で、優先順位を付け計画的に実施する必要があるため、今後も県と連携し、相互に共通意識が持てるよう情報共有を図る必要がある。 H29年度末に作成した維持管理計画を確認し、計画的に修繕を行う。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要に応じ、予算の範囲内で購入	○	×	備品購入無し	—	—	今後も必要に応じ、優先順位、コストを考慮して備品の購入を行う必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
平常時は、防災意識を保持し、危機管理体制を確認するための避難・情報伝達等の防災訓練を年1回実施する。 同公園が海岸に隣接していることから、公園利用箇所別に対応した避難誘導マニュアルを作成する。 [事業計画書]	○	×	9/1の防災の日には糸満市と協力し、津波避難訓練を実施した。	事業報告書にて実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	避難誘導マニュアルを作成した。今後も防災訓練を実施し、非常時に備える必要がある。

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
経理チェック体制 ●管理指導員等 ①設定された利用料金を基に、算定、確認し利用者から徴収。 ②管理指導員等は利用者リスト、利用明細を添付の上、徴収金を公園管理経理担当へ納入。 ●経理担当者 ③利用者リスト、利用明細との照合、確認を行うなど複数チェックを行った後、金融機関へ入金する。 [事業計画書]	○	×	事業計画書のとおり実施した。	毎月のモニタリング月報及び事業報告書にて実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後も適切な料金徴収業務に努める必要がある。

(8)植栽管理 [基本協定第10条(3)②]

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
園内施設の植生地等の維持管理に係る作業員を4名配置し、適正な維持管理により健全な植生を維持する。 [事業計画書]	○	○	植生の保育管理について、枯損木撤去や枝打ち、剪定を実施、公園内の整備を図るとともに、生育に適正な環境作りを心掛けている。 【エリア】 ○全国植樹祭記念の森 ○多目的広場 ○東側北 ○東側南 ○西側北 ○西側南 【作業項目】 ・芝・草刈り(乗用式/肩掛式) ・生垣花木剪定 ・薬剤散布 ・枝打ち ・芝補植 ・施肥 ・枯損木撤去	事業報告書、現場写真及び現場視察時に実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	今後も園内各エリアの緑化・美化へ力を入れ、巡回点検による樹木への病害虫等の早期発見、予防保全に努め、引き続き快適な公園づくり、植栽管理業務を行う必要がある。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務取組改善案	維持管理業務については概ね良好であるが、労働力不足の影響で、作業員が清掃員を兼務するなど、現場に負担がかかる傾向にある。加えて経年による施設の老朽化で修繕費の負担も大きい。今後とも、指定管理者による補修の優先付けを行い、適正な公園管理に努める。
----------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R2年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		H30実績	事業計画 (目標値)	R元実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
					前年比	計画比		
利用者数	個人利用者数	56,157	55,500	51,706	92%	93%	昨年度から個人利用が減少している。SNS等を利用して公園の周知を図り、利用者を増やしていきたい。	
	団体利用者数	多目的広場	5,487	4,200	4,911	90%	117%	大会の有無で増減がある。SNS等を利用して、団体利用を増やしていきたい。
		マヤーアップ	0	0	0			2018年度から洞内立入禁止
		その他	12,067	6,300	12,789	106%	203%	イベントの誘致や招致活動により、団体利用が伸びている。単発のイベントが多いが、関係団体との結びつきを強化し定期開催のイベントを増やして安定性を図りたい。
	計	73,711	66,000	69,406	94%	105%	年度後半に新型コロナウイルスの影響によるイベント中止等に伴い、利用者数は前年度比減。	
					評価(①利用状況)		A	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

【①平日】

施設名	H30実績	事業計画 (目標値)	R元実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
多目的広場	2% (3/190)	—	7% (13/189)	—	—	—
マヤーアブ	—	—	—	—	—	—
施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。			評価(①利用状況)	—		

【②土日祝日】

施設名	H30実績	事業計画 (目標値)	R元実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
多目的広場	54% (59/109)	—	50% (60/119)	—	—	—
マヤーアブ	—	—	—	—	—	—
施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。			評価(①利用状況)	—		

【①+②合計】

施設名	H30実績	事業計画 (目標値)	R元実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
多目的広場	21% (62/299)	—	24% (73/308)	—	—	多目的広場は、土日のサッカーでの利用が最も多く、平日の稼働率は低い。天候や催事に左右されるため揺れ幅が大きい。サッカー以外の利活用にも訴求していきたい。
マヤーアブ	—	—	—	—	—	
施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。			評価(①利用状況)	—		

※稼働率=各施設の利用実績/開園日

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉	308	308	規定通りに実施	特になし
〈開園時間〉	(夏期)4～8月 9:00～18:30 (冬季)9～3月 9:00～17:30	(夏期)4～8月 9:00～18:30 (冬季)9～3月 9:00～17:30	規定通りに実施	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
来園者を笑顔でお迎えし、公園の施設概要を説明するほか来園者の要請に応じて公園案内を行うなど「おもてなしの心」を提供する。 [事業計画書]	○	×	来園者が何を求めているのかを常に考えながら、困っていそうなお客様には声をかけるなど、きめ細やかなサービスの提供を心掛けた。	指定管理者からのヒアリング、アンケート資料などから実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	今後も引き続き適切な受付・接客に努める必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園の認知度を高めるため、ノウハウを持つ業者に外部委託し、SNSやメディアを利用して広く情報発信を行う。 近隣の福祉施設等にパンフレットを配布、利用提案をし認知拡大を目指す。 [事業計画書]	○	○	既存利用のSNSや広報ツール、メディア等を通じて広報活動を行った。特にイベント開催時には段階的に情報を公開するなど、利用者の興味を引くような仕掛けを盛り込み、計画的に実施した。	ホームページ、SNSページなど関係資料により実施確認。特に、SNSについては更新頻度も高く、内容についても趣向を凝らしていた。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	イベントの開催について、インターネット媒体による広報を重点的に行ったが、周知時期が遅く十分な効果が得られていないものもあったため、早い時期から広報に取り組む。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の保護に関する関係規定を遵守し、運営管理上必要な個人情報については、最低限の提出に留め、厳格かつ厳重に取り扱う。 [事業計画書]	○	×	報告書への記載なし。	適正に実施されている。	事業計画書のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後とも引き続き個人情報保護に努める必要がある。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1. 木を知り、森を知る「木の実験教室」	○	×	○実施		計画通り実施	<p>■3・7・8・10と同時開催 周知期間が短かったため、もっと早い時期から広報活動を行う必要がある。</p> <p>開催日:8/11 参加者:4人</p>
2. 草木染め、押し葉、葉脈標本作り講座	○	×	○2回 実施		計画通り実施	<p>■7と同時開催 クリスマスリースを制作。年越しそばとクリスマスの親和性が高く好評であった。</p> <p>開催日:12/22 参加者:33人</p>
3. 木工、木の実、木の枝クラフト教室	○	×	○実施		計画通り実施	<p>■1・7・8・10と同時開催 親子で参加するイベントとして好評である。</p> <p>開催日:8/11 参加者:24人 ※第2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>
4. 親子ふれあいウォークラリー	○	×	○実施		計画通り実施	<p>親子でゆっくり散策できる好評のイベント。イベント終了後も滞在したくなるようなコンテンツの提供が必要。</p> <p>開催日:10/5 参加者:1,000人</p>
5. ビーチコーミングイベント	○	×	○実施		計画通り実施	<p>高校の修学旅行の自然体験コースとして実施。好評であったため、今後も多くの学校を受け入れていく予定。</p> <p>開催日:1/28 参加者:70人</p>
6. 農産物即売会およびハーブ・苗植木市	○	×	○実施		計画通り実施	<p>地元山城区や近隣農家から農作物を仕入れ、地産地消に貢献。販売品は主に規格外や過剰在庫の野菜で、フードロス対策にも貢献できた。</p> <p>開催日:8/11 参加者:未集計</p>
7. 木灰そば作り体験教室	○	×	○2回 実施		計画通り実施	<p>■(8月)1・3・8・10と同時開催 ■(12月)2と同時開催 昨年度課題であった待ち時間については、12月開催時に他イベントを同時に開催することで解消され、好評であった。</p> <p>これまでに複数回実施しているため、集客が難しくなっており、宣伝方法を検討する必要がある。</p> <p>開催日:8/11 参加者:40人 開催日:12/22 参加者:34人</p>
8. TLUDストーブ制作体験	○	×	○2回 実施		計画通り実施	<p>■1・3・7・10と同時開催 スチール缶を利用したTLUD(Top lit up draft)ストーブを制作する企画である。</p> <p>複数イベントと同時開催をしたため、体験できなかった方もいたため、単独開催を検討。</p> <p>開催日:8/11 参加者:13人 開催日:11/3 参加者:29人</p>

9. 平和のために飛ばすカタパルト飛行機	○	×	×未実施		事業計画通り実施できなかった	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
10. 親子自然観察会	○	×	○実施		計画通り実施	■1・3・7・8と同時開催 サンゴ礁の海の自然・生物の観察をする企画である。天候や潮位に左右される。猛暑対策が必要。 開催日:8/11 参加者:11人
11. お手入れ木の見学プログラム	○	×	×未実施		—	当初計画より、育樹祭(2019年)が終了した後の2020年からの実施を予定している。
12. 平和と多様性のためのジャズコンサート	○	×	○実施		計画通り実施	■14と同時開催 事前に天候不良時を想定し、準備する必要がある。 開催日:11/3 参加者:500人
13. 星空観察会	○	×	○実施		計画通り実施	早めの周知とSNSの活用により過去最高の参加者数となった。駐車場や会場の都合を考慮し、今後は集客よりも快適性を求める必要がある。 開催日:8/31 参加者:635人
14. Music&Torch for Peace	○	×	○実施		計画通り実施	■12と同時開催 火を使用するため、安全面への配慮が重要となる。 開催日:11/3 参加者:500人
15. 平和をテーマとした近隣3公園のスタンプラリー	○	×	○実施		計画通り実施	「海軍壕公園」、「平和祈念公園」及び当公園を巡るスタンプラリーで2020年3月から実施。新型コロナウイルスの影響で参加者が少ない。 開催日:通年 参加人数:5人
16. 森をテーマとした森林3公園のスタンプラリー	○	×	○実施		計画通り実施	「国頭村森林公園」、「県民の森」及び当公園を巡るスタンプラリーで2019年6月から実施。新型コロナウイルスの影響で参加者数が伸び悩む。 開催日:通年 参加人数:604人

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>2. 運営業務 広報担当を迎えて2年目となり、SNSを含めた情報発信が活発で、自主事業への参加者も増加傾向にある。スタンプラリーも本格始動し、利用者も増えつつあったが、新型コロナウイルスの影響で2月以降は利用者数が伸び悩んでしまった。今後、継続して外部からの持ち込み企画などを誘致し、地域との関係強化を図る。</p> <p>3. 自主事業 今後も採算を意識し、集客と自主事業の継続を両立できるような運営を行う。</p> <p>(備考)同日開催イベントに係る総来園者数 (うち自主事業参加人数) 11月3日開催 (自主事業番号No.8・12・14) : 744人 (529人)</p>
-----------------------------	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R2年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅱ. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	H30評価	目標	R元評価		
維持管理業務 施設・設備管理	<p>〈満足度〉100% 施設の管理状況について</p> <p>満足 73% やや満足 27% やや不満 0% 不満 0%</p>	<p>〈満足度〉80%</p>	<p>〈満足度〉96% 施設の管理状況について</p> <p>満足 65% やや満足 31% やや不満 2% 不満 2%</p> <p>〈改善要望〉 花壇をもっと活用してほしい。</p>	<p>S</p> <p>巡回や点検等で常に美観を意識し、業務を行っているため、好評いただいているものと認識している。目に見えない部分も防錆剤や防錆剤などを塗布し、施設・設備の長寿命化を図っている。昨年の課題であった遊具施設は2019年度に県費で更新した。</p>	<p>現状を維持しつつ、更に快適で過ごしやすい環境を提供していきたい。 要望があった「花壇の活用について」は、四季を感じられるような花壇作りを心がけ、活用していきたい。</p>
運営業務 接客対応	<p>〈満足度〉98% Q.職員の接客について</p> <p>満足 75% やや満足 23% やや不満 2% 不満 0%</p>	<p>〈満足度〉80%</p>	<p>〈満足度〉100% Q.職員の接客について</p> <p>満足 82% やや満足 18% やや不満 0% 不満 0%</p> <p>〈改善要望〉 守衛の態度がキツイ。 ※警備体制の変更により2020年度から守衛なし</p>	<p>S</p> <p>過去のモニタリングからの改善を重ねてきたこともあり、好評を得ている。アンケート外でも散歩中の利用者から「いつもご苦労様」とお声をいただいたりとお声をお聞きし、良好な関係を築けている。</p>	<p>「公平で利用しやすい公園」を意識し運営にあたった結果、イベント等の会場として利用していただくことも多くなり、団体での利用者も増加傾向である。今後も団体利用を増やしつつ、イベントに頼らない集客も目指したい。</p>
施設・設備	<p>〈満足度〉98% Q.設置施設について</p> <p>満足 81% やや満足 17% やや不満 2% 不満 0%</p>	<p>〈満足度〉80%</p>	<p>〈満足度〉92% Q.設置施設について</p> <p>満足 62% やや満足 30% やや不満 4% 不満 4%</p> <p>〈改善要望〉 もっと遊具がほしい。 東屋など日陰になる場所がほしい。 樹木用名札などがあるとよい。 キャンプ場、バーベキュー場がほしい。</p>	<p>S</p> <p>遊具や休憩所については、依然要望が多い。ハード面の構築は指定管理者単体では難しいので、今後も県と協力していきたい。キャンプ場、バーベキュー等の要望については、今後イベント回数を増やすなどして対応する予定である。</p>	<p>新規の遊具設置や東屋の増設等、現状に満足しているものの、より快適にと期待する声がある。しかしながら、何もないのが良いという意見や、子供が工夫して自然を楽しめる環境を評価する声も根強く、更なるニーズの掘り下げが必要である。</p>
利用条件	<p>〈満足度〉87% Q.閉園時間について</p> <p>満足 56% やや満足 31% やや不満 9% 不満 4%</p>	<p>〈満足度〉80%</p>	<p>〈満足度〉96% Q.閉園時間について</p> <p>満足 63% やや満足 33% やや不満 2% 不満 2%</p> <p>〈改善要望〉 開園時間をもっと伸ばしてほしい。 (朝・夕)</p>	<p>S</p> <p>開園時間や休園日に対して不満を感じている人数が最も多い。</p>	<p>「休園日をなくして欲しい」という要望については、施設の保守点検や薬剤散布等を行うこともあるので、対応は難しい。経費的な問題もある。 「開園時間の延長」については、主に駐車場の施設についての意見だと思われるが(徒歩で出入りは可能)、『閉園時間』を設けていることを鑑みても、警備上の理由により実現は困難かと思われる。</p>

<p>自主事業</p>	<p>〈満足度〉96% Q.自主事業について</p> <p>※自主事業は各プログラムごとに独自に集計をとっているため全体を把握できなかった。</p>	<p>〈満足度〉80%</p>	<p>〈満足度〉100% Q.自主事業について</p> <p>満足 100% やや満足 0% やや不満 0% 不満 0%</p>	<p>S</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で計画していたイベントの一部が中止となってしまった。今後は対策を練りながら実施方法を模索する必要がある。</p> <p>また、昨年度の運用委員会で指摘を受け、自主事業は集客を目的としたイベントにシフトし、公園の周知・広報活動を意識して行った。</p> <p>規模は小さいながらも、「新しい公園の利活用」に訴求できたと思われる。</p>	<p>引き続き自主事業をおとした公園の周知・広報活動を行い、公園利用者数を増やしていきたい。</p> <p>また、採算を意識し、集客と自主事業の継続を両立できるような運営を心掛けたい。</p>
<p>総合評価 (各評価項目の平均)</p>	<p>〈満足度〉96% (※1)</p>	<p>〈満足度〉80% (※1)</p>	<p>〈満足度〉97%</p>	<p>評価 (②満足度) S</p>	<p>公園サービスと連動してアンケートに協力していただける流れが必要だと感じている。モニター数ももっと増やし、幅広くニーズを拾っていききたい。</p> <p>満足+αの部分を提供していきたい。</p>	<p>現状の公園でかなり満足してもらっているが、アンケート回答者の年齢層に偏りがあるため、幅広い層から回答を得られるようにアンケートの実施方法に工夫が必要である。</p>

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合)
ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

<p>Ⅱ. サービスの質の評価 取組改善案</p>	<p>サービスの満足度は高い水準を維持できている。今後も慢心せずに取り組む。引き続き、認知度向上につながるような取組を行っていく予定である。</p>
-------------------------------	--

※「Ⅱ. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R2年度)の主な取組改善案を記入してください。

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目	H30実績	事業計画	R元実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	120,200	157,000	150,100	124.9%	95.6%	
指定管理料	33,264,000	33,264,000	33,507,000	100.7%	100.7%	
他の会計からの繰入	0	970,000	970,000	#DIV/0!	100.0%	
小計(A)	33,384,200	34,391,000	34,627,100	103.7%	100.7%	
自主事業収入	164,128	1,242,000	547,825	333.8%	44.1%	
事業雑収入	93	0	62	—	—	
合計(A)	33,548,421	35,633,000	35,174,987	104.8%	98.7%	
(現状分析・課題)						
<p>利用料金収入は、昨年度よりも増額したものの、計画の157,000円は達成できなかった。 また、自主事業収入については、昨年度はなかった自動販売機収入が増えたことと、有料の貸出遊具を導入したことから前年度比で大幅に増加しているものの、事業計画は達成できなかった。要因としては、自主事業に伴う販売の計画と実績の乖離であるため、計画を見直す必要がある。</p>						

(2) 支出

支出項目	H30実績	事業計画	R元実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	15,617,802	17,938,000	17,463,050	111.8%	97.4%	
消耗品費	527,492	600,000	671,321	127.3%	111.9%	
印刷製本費	172,800	50,000	25,020	—	50.0%	
通信運搬費	285,014	240,000	299,209	105.0%	124.7%	
保険料	58,842	150,000	73,708	125.3%	49.1%	施設災害保険料
租税公課	1,431,630	1,441,000	1,572,616	109.8%	109.1%	収入印紙、自動車税等
広告料	22,717	150,000	70,945	—	47.3%	
事務費その他	74,380	16,000	10,626	14.3%	66.4%	支払手数料
燃料費	492,767	473,000	481,460	97.7%	101.8%	
光熱水費	2,475,039	2,508,000	2,230,494	90.1%	88.9%	
修繕費	2,499,182	2,479,000	2,432,521	97.3%	98.1%	
委託料	5,945,340	6,226,000	6,121,316	103.0%	98.3%	警備、電気保安管理等
委託料(広報)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	—	100.0%	
使用料及び賃借料	955,622	660,000	819,318	85.7%	124.1%	
備品購入費	0	250,000	0	—	0.0%	
その他管理費	535,436	789,000	1,005,173	187.7%	127.4%	原材料費を統合
小計(B)	32,294,063	35,170,000	34,476,777	106.8%	98.0%	
自主事業支出	245,112	365,000	268,459	109.5%	73.6%	
合計(B)	32,539,175	35,535,000	34,745,236	106.8%	97.8%	
(現状分析・課題)						
<p>昨今の人件費高騰の影響で警備委託費が年々増加傾向にある。そのため、前年度に引き続き、清掃業務を管理作業員が兼務するなどの人員配置の見直しや、無料のサービスやSNS等を活用することによる経費の削減を図った。</p>						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	H30実績	事業計画	R元実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入合計(A)-支出合計(B))	1,009,246	98,000	429,751	42.6%	438.5%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	3.01%	0.28%	1.22%	40.6%	444.2%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入合計(A))	0.36%	0.44%	0.43%	119.1%	96.8%	
人件費比率 (人件費/支出合計(B))	48.0%	50.5%	50.3%	104.7%	99.6%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出合計(B))	18.3%	20.9%	21.1%	115.3%	100.8%	
利用者あたり管理コスト (支出合計(B)/利用者数)	441	515	501	113.4%	97.2%	H30利用者 73,711人 R元利用者 69,406人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	451	482	483	107.0%	100.1%	H30利用者 73,711人 R元利用者 69,406人
<p>〈現状分析・課題〉</p> <p>昨年度は過度な経費削減により事業収支が大幅増となっていたが、今年度は自動販売機収入及び貸出遊具の一部有料化に伴い、事業収支が計画比より増となっている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により計画していた大型自主事業イベントが中止となり、利用者数が計画どおり伸びず管理コストが前年度比増となったものの計画は達成している。</p>						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準(③財務状況)】
 収益率(事業収支/収入合計)
 A: 0%以上
 B: -5%以上、0%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	増加傾向にある「委託費」に対して、作業員配置の見直し、作業の効率化、広報費の抑制等で対策を行っているが、現場負担が重くなりつつある。適切な予算配分と中・長期計画による財務状況の把握を徹底し、負担軽減に努めたい。
----------------------------------	---

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R2年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率性が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	66,000	69,000	73,000	76,000	目標数値は事業計画より参照 ※2018～マヤアブ洞内立入禁止のため数値を修正
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	80%以上
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	0%以上

2. 評価結果

評価項目	評価指標	H30実績	事業計画 (目標値)	R元実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R2年 目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	73,711	66,000	69,406	94%	105%	今後も継続して、広報に注力しつつ、既存のリピーターに居心地の良い環境を提供できるよう努める。	A	新型コロナウイルスの影響で下半期の利用者数が伸び悩み、前年度比減となったものの、目標値は達成している。 今まで以上に積極的な認知度向上に努め、利用者数を増やしていく。	69,000
	②満足度	満足度	96%	80%	97%	101%	121%	現状の公園でかなり満足してもらっているが、アンケート回答者の年齢層に偏りがあるため、幅広い層から回答を得られるようにアンケートの実施方法に工夫が必要である。	S	サービスの満足度は高い水準を維持できている。今後も慢心せずに取り組んでいきたい。 引き続き、認知度向上につながるような取組を行っていく予定である。	80%
財務指標	③財務状況	収益率	3.01%	0.00%	1.22%	-	-	昨今の人件費高騰の影響で警備委託費が年々増加傾向にある。そのため、前年度に引き続き、清掃業務を管理作業員が兼務するなどの人員配置の見直しや、無料のサービスやSNS等を活用することによる経費の削減を図った。	A	増加傾向にある「委託費」に対して、作業員配置の見直し、作業の効率化、広報費の抑制等で対策を行っているが、現場負担が重くなりつつある。適切な予算配分と中・長期計画による財務状況の把握を徹底し、負担軽減に努めたい。	0%以上
活動指標	④重点取組事項	広報活動件数 (facebook投稿件数)	242	52	123	0.508	2.365	前年度比で半減しているが、これは投稿内容を精査した結果である。週2回以上の頻度で投稿し、フォロワー数も約200人増加しているため、公園の認知度向上が図られている。	S	今後とも広報活動に注力し、公園の認知度向上に努める。	52以上

総合評価

S

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「H30目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】**①利用状況**

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目において C評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

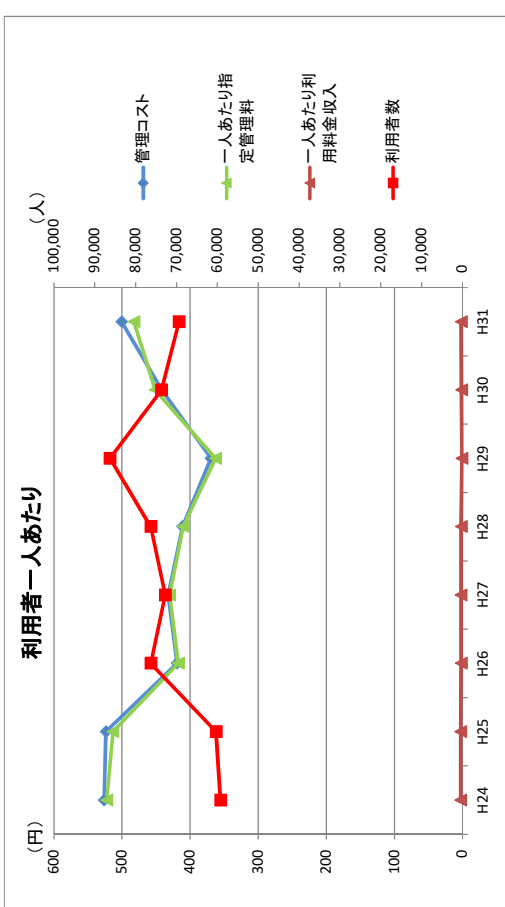
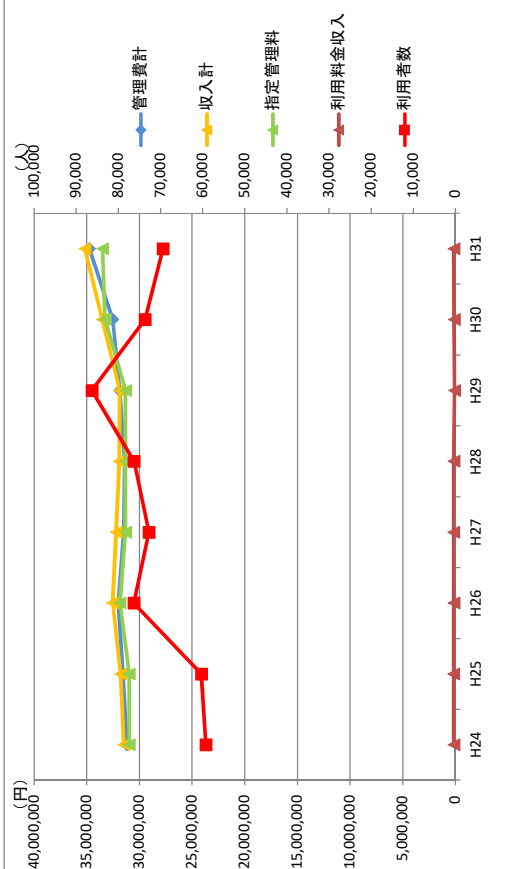
<各評価項目点数>

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称：沖繩県平和創造の森公園

指標	直営										指定管理										
	単位	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	
成果指標	利用者数	人									59,254	76,323	72,784	76,305	86,308	73,711	69,406				
	実績										100%	102%	127%	105%	113%	85%	94%				
	目標											100%	102%	123%	146%	124%	117%				
財務指標	指定管理料	円									30,975,000	31,860,000	31,320,000	31,320,000	31,320,000	33,264,000	33,507,000				
	票負担割合(指定管理料/管理費計)	%									99.3%	98.1%	99.5%	99.8%	99.2%	102%	96.4%				
	利用料金収入	円									158,300	169,050	172,250	149,150	93,550	120,200	150,100				
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%									0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%				
	自主事業収入	円									351,433	339,758	0	421,716	474,203	164,128	547,825				
	雑入等	円									0	299,165	719,261	30,850	31	93	970,062				
	収入計	円									31,484,753	31,782,973	32,558,667	32,211,511	31,921,716	33,548,421	35,174,987				
	管理費計	円									31,190,271	31,581,811	32,006,400	31,492,250	31,379,805	31,880,987	32,539,175	34,745,236			
	収支	円									294,482	201,162	552,267	719,261	541,911	6,797	1,009,246	429,751			
	収益率(収支/収入計)	%									0.9%	0.6%	1.7%	2.2%	1.7%	3.0%	3.0%				
一人あたり管理コスト	円									526	524	419	433	411	369	441	501				
一人あたり指定管理料	円									523	513	417	430	410	363	451	483				
一人あたり利用料金収入	円									3	3	2	2	2	2	2	2				

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載
 H30年度 当初の利用者数の目標値を80,000人としていたが、ガマ利用が停止となったため、H29年度ガマ利用者数17,000人を差し引いた63,000人をH30年度目標とした。
 H29年度 前年度比113%増を達成した。
 H28年度 前年度比113%増を達成した。
 H27年度 前年度比105%増を達成した。

目標設定の考え方 ※目標設定の根拠や考え方を記載

年度	目標設定
H31年度	前年度比5%増を目標
R2年度	前年度比5%増
R3年度	前年度比5%増
R4年度	前年度比5%増